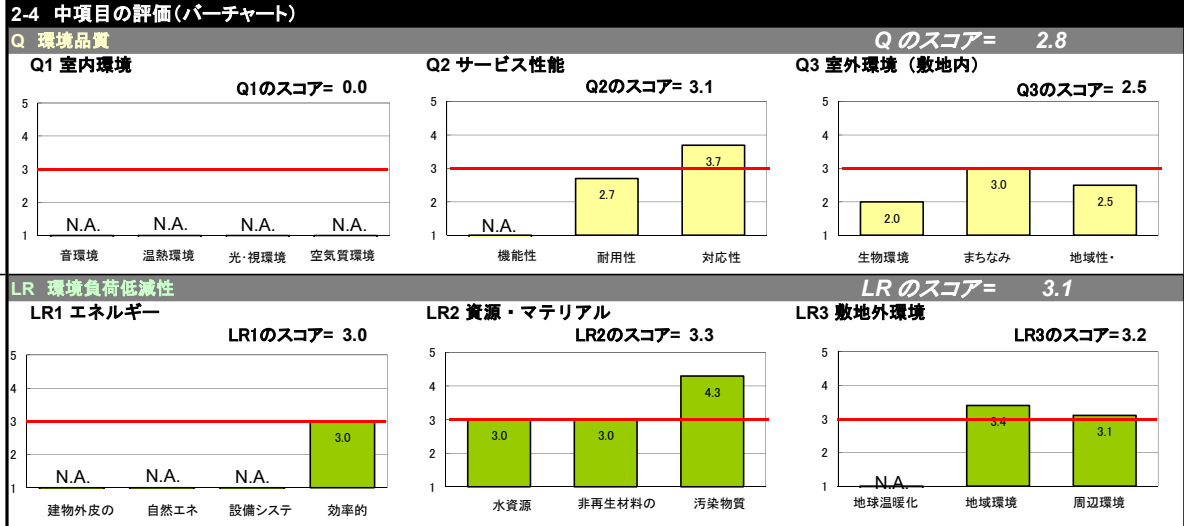
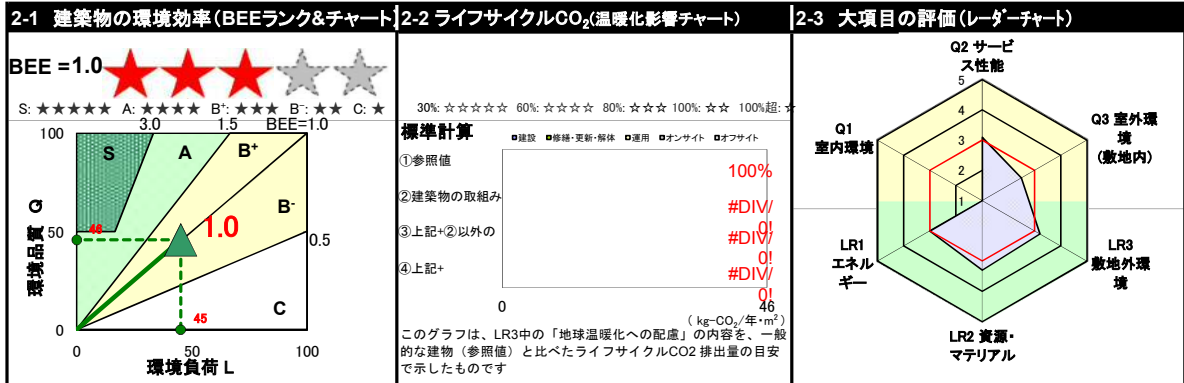


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	知多カリモク(株)木材倉庫新築工事	階数	地上1階
建設地	愛知県知多郡東浦町大字南栄町1-1	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	0人
気候区分	6地域	年間使用時間	150時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2017年10月13日
敷地面積	3,003 m ²	作成者	田島康成
建築面積	2,034 m ²	確認日	2017年10月16日
延床面積	2,024 m ²	確認者	田島康成



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">N.A</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="font-size: 1.5em;">25.8 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.1</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート	実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄						建物全体・共用部		建物全体・共用部・居住・宿泊部分		全体
	注目基準	重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質												2.8	
Q1 室内環境													
1 音環境													
1.1 室内騒音レベル													
1.2 遮音													
1 開口部遮音性能													
2 界壁遮音性能													
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)													
4 界床遮音性能(重量衝撃源)													
1.3 吸音													
2 温熱環境													
2.1 室温制御													
1 室温													
2 外皮性能													
3 ソーン別制御性													
2.2 湿度制御													
2.3 空調方式													
3 光・視環境													
3.1 昼光利用													
1 昼光率													
2 方位別開口													
3 昼光利用設備													
3.2 グレア対策													
1 昼光制御													
3.3 照度													
3.4 照明制御													
4 空気環境													
4.1 発生源対策													
1 化学汚染物質													
4.2 換気													
1 換気量													
2 自然換気性能													
3 取り入れ外気への配慮													
4.3 運用管理													
1 CO ₂ の監視													
2 喫煙の制御													
Q2 サービス性能												3.1	
1 機能性													
1.1 機能性・使いやすさ													
1 広さ・収納性													
2 高度情報通信設備対応													
3 バリアフリー計画			独自										
1.2 心理性・快適性													
1 広さ感・景観(天井高)													
2 リフレッシュスペース													
3 内装計画													
1.3 維持管理													
1 維持管理に配慮した設計													
2 維持管理用機能の確保													
2 耐用性・信頼性												2.7	
2.1 耐震・免震・制震・制振													
1 耐震性(建物のこわれにくさ)													
2 免震・制震・制振性能													
2.2 部品・部材の耐用年数													
1 躯体材料の耐用年数													
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			②										
4 空調換気ダクトの更新必要間隔													
5 空調・給排水配管の更新必要間隔													
6 主要設備機器の更新必要間隔													
2.4 信頼性													
1 空調・換気設備													
2 給排水・衛生設備													
3 電気設備													
4 機械・配管支持方法													
5 通信・情報設備													

②

②

床:コンクリート刷毛引き仕上...30年(モルタル仕上の値で代用)

最も短いもので25年(電灯分電盤)

3 対応性・更新性				3.7	0.48				3.7
3.1 空間のゆとり		②		5.0	0.31				
1 階高のゆとり				一番低い階高は7.55m。	5.0	0.60			
2 空間の形状・自由さ				壁長さ比率0.08	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31			
3.3 設備の更新性					3.2	0.38			
1 空調配管の更新性					-	-			
2 給排水管の更新性					3.0	0.20			
3 電気配線の更新性				大部分が露出配管	5.0	0.13			
4 通信配線の更新性					3.0	0.13			
5 設備機器の更新性					3.0	0.27			
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.27				
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57				2.5
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30				2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性									3.1
LR1 エネルギー				-	0.40				3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制				-	-				-
2 自然エネルギー利用				-	-				-
3 設備システムの高効率化				-	-				-
4 効率的運用				3.0	1.00				3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00				
4.1 モニタリング				3.0	1.00				
4.2 運用管理体制				-	-				
集合住宅の評価				-	-				
4.1 モニタリング				-	-				
4.2 運用管理体制				-	-				
LR2 資源・マテリアル				-	0.30				3.3
1 水資源保護				3.0	0.15				3.0
1.1 節水				-	-				-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	1.00				
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67				
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.63				3.0
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		3.0	0.21				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自		1.0	0.21				
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	躯体と仕上材の分別が容易である。	5.0	0.25				
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.3	0.22				4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避				5.0	0.68				
1 消火剤			断熱材の使用はない。	-	-				
2 発泡剤(断熱材等)				5.0	1.00				
3 冷媒				-	-				
LR3 敷地外環境				-	0.30				3.2
1 地球温暖化への配慮		①		-	-				-
2 地域環境への配慮				3.4	0.50				3.4
2.1 大気汚染防止			敷地内に燃焼設備はない。	5.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25				
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25				
3 交通負荷抑制		独自	管理用の駐車スペースを計画している。	4.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25				
3 周辺環境への配慮				3.1	0.50				3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40				
1 騒音		独自		3.0	1.00				
2 振動		独自		-	-				
3 悪臭				-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40				
1 風害の抑制				3.0	0.70				
2 砂塵の抑制				-	-				
3 日照障害の抑制				3.0	0.30				
3.3 光害の抑制				3.7	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうらみに漏れる光への対策			広告物照明はない。	4.0	0.70				
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30				

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

知多カリモク(株)木材倉庫新築工事

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				N. A
LR3-1	地球温暖化への配慮	0.0	0.00	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	2.7	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.7	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:25.84%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 知多カリモク(株)木材倉庫

計画上の配慮事項	
総合	愛知県知多郡東浦町に計画される倉庫である。LED照明を採用などで環境負荷の低減に配慮した建物である。高さのある階高や壁長さ比率に余裕を持たせ、フレキシビリティのある建物としている。
Q1 室内環境	評価対象となる室は無い。
Q2 サービス性能	電気配線の大部分は露出配線となっていて、構造材・仕上材を傷めずに修繕・更新が可能である。
Q3 室外環境(敷地内)	燃焼設備は設置していない。
LR1 エネルギー	LED照明を使用するなど、高効率な設備機器を採用している。
LR2 資源・マテリアル	断熱材の使用は無い。
LR3 敷地外環境	屋外の広告物照明の設置は無い。
その他	特になし。